令和４年度　第５回タウンミーティングの概要

１　団体名　　本石二丁目自治会連合会
　　代表者　　会長　平岡　康伸

２　開催日等
（１）開催日　令和４年１１月２０日（日）
（２）会　場　婦人児童館
（３）テーマ　今後の市政について

３　意見交換の概要
※ [　　] 内はミーティング終了後、所管課で補足したものです。

市民　４点お聞きします。初めに婦人児童館、石原分団車庫は老朽化しており、施設の統廃合なども聞いていますが、今後について伺います。

次に、石原分団車庫の２階は、地域の会議室として利用していますが、その点も今後について伺います。

次に、石原保育所も非常に老朽化しており、統廃合等があるように聞いています。そのことについて伺います。

最後に、蚕業試験場跡地ひろばは、グラウンドゴルフや散歩コースなど、市民の皆さんが利用しています。今後の利用構想について伺います。

市長　最初に、石原分団車庫と婦人児童館についてお答えします。

分団車庫の老朽化については承知しています。建て替えは先の計画ですので、さしあたり２階の内部の改修をしたらどうかと担当者と話をしたところです。

婦人児童館については、公民館等の集約・機能受入れ先として市内に７つの生涯活動センターを造る計画を立てており、本石、石原、上石、赤城地区は婦人児童館や勤労会館などの受入れ先として第２中央生涯活動センターを整備する計画です。

小・中学校のプールは除却し、アクアピアなどで集中的に水泳の授業を行う方向で、このプール跡地に地域会館を造る計画を立てていましたが、子どもたちの学び舎に、たくさんの車と人が出入りをすることになります。であれば、学校が存続する地域の地域会館は、学校内には設置せず、現公民館など既存施設敷地等への設置を含め検討するよう計画を見直しさせています。ですから、石原地域では、婦人児童館の跡地に６０坪ほどの地域会館を設置する考えもあります。

次に蚕業試験場跡地ひろばについてです。子育て支援・保健拠点施設として整備します。子育て・保健機能の充実及び連携強化を目的とし、子どもたちが天候に左右されずに利用できる遊びの場、学びの場、子育てに関する相談機能を持つ

こどもセンターと、１２０人規模の新石原児童クラブ、１５０人規模の（仮称）中央保育所、２か所の保健センターと母子健康センターを統合し一元的なサービスを行う保健センター及び休日・夜間急患診療所の五つの機能を複合的に整備します。

石原保育所は（仮称）中央保育所に統合されます。ただ、管轄が広範囲にわたるので、直接保育所へ送迎するだけでなく、駅で子どもを預かり、バスで運び、親が帰る時間に合わせて駅に送ることができるように計画を進めています。

（警防課） 分団車庫の建て替えは、計画に基づいて進めます。改修については、分団車庫が複数あるため、老朽化等を確認しながら行っていきます。

分団車庫の建て替えまでは、これまでのとおり利用可能です。

（こども課） 屋外広場については、ウォーキングコースや健康遊具などを設置し、子どもだけでなく、地域の方にも利用していただけるよう整備を進めます。

市民　蚕業試験場跡ひろばで、グラウンドゴルフやターゲットバードゴルフをやっている人がいて、皆さん年配者です。別な場所へ行こうにもなかなかいけません。最初の計画図を見ると南側の芝生広場が広いので、安全対策をした上で共有できないでしょうか。また、工事はいっぺんにやるのでしょうか。

市長　工事の順番は施工側の判断ですが、工事が始まると、入口も狭いし、空いていても使うのは厳しいかもしれません。

グラウンドゴルフは校庭など広いところがあればできるかなと。ターゲットバードゴルフは、熊谷クリーンコースを使っていただくか、市として今後、妻沼の多目的ゴルフひろばに、専用のコースを考えていくのも一つかなと思います。御提案の芝生広場は、子どもたちのためのエリアと考えています。

（こども課） 現在の施工計画では、令和6年4月から解体工事を開始する予定です。

（公園緑地課） 利根川総合運動公園の多目的ゴルフひろばにコースの設置ができるよう、利根川上流河川事務所と調整を行ってまいります。

市民　空家対策について伺います。人口減少に伴い空き家が増えています。私としては、空き家の管理責任者を設けて、何かあれば窓口になってもらうような制度を作れば、スムーズに事が運ぶのではないかと考えています。

市長　管理責任者制度を作ったらどうかというお話ですが、空き家は時には相続など様々な問題を抱え一筋縄でいきません。民間業者の力を借りて、有効に使えるよう進められればと思っています。空き家を登録する埼玉県北部地域空家バンクの制度もあります。また、防犯上問題があるものは、近隣に問題が起きないような対処をしますので、遠慮なく市に連絡してください。

市民　私の家は本石一丁目ですが、周りは空地と空き家だらけです。空地の草刈

なども、相手も教えてもらえず非常に困っています。
市長　連絡先は個人情報なので教えられませんが、市に連絡していただければ、所有者を調べて、適切に管理するように指導していますので、お問い合わせください。

市民　防災無線が聞きづらいときにどのような方法がありますか。
市長　この地域は防災無線のスピーカーが、イオン、栄明ビル、石原分団車庫の屋上にあり、各々半径３００ｍをカバーしています。今の家は高気密になっていて、窓を閉めるとよく聞こえないこともあります。メルくまに登録していただくと、メールでお知らせすることができます。

市民　熊谷市の農業の現状とこれからについて伺います。
　県の統計を見ると、熊谷市は農業生産高が群を抜いています。埼玉県北部は、農業環境に恵まれ、米麦、長ネギ、ヤマトイモの生産高はトップクラスです。綿々と続く努力により今の熊谷があります。広い田畑が残る熊谷市をこれからも維持してもらいたいと思います。
市長　農業生産高は７２億円と県内で第７位です。農業生産高は、商工と合わせると、全体の１～２％しかありませんが、小麦と大豆は県内で第１位、ネギ、ヤマトイモは県内第２位、水稲、ニンジンは第３位です。県内７位に落ちた理由は米価の下落によるものです。
　今、農業は高齢化や肥料、農薬、燃料などの値上がりで収益率が下がっており、今後も続けてもらえるか心配です。とはいえ熊谷市の土地改良率は７０数％と、県内でもトップクラスなので、機械化などを進められれば良いと思います。個人のほかにも農業法人など、なんとか継続できる方法を考えたいと思います。
　また儲かる農業ということで、少し手間をかけてプレミアム化することで儲かる農業、魅力ある農業に変えて後継者を育てていきたいと考えています。

市民　地区内に文化町踏切という車が通れない踏切があります。この踏切を渡ると文化町の交差点に出ますが、この交差点は非常に交通事故が多いです。踏切を渡ってきた自転車が、一時停止を無視して飛び出してしまいます。信号が設置できないのであれば、看板設置という方法もあると思います。最近市内から石原方面に向かう車が安全運転になったので、調べてみたら、その交差点の手前に看板が一つ付いていました。できれば他の３カ所にもつけてもらえれば相当事故が減るかなと思います。
市長　交差点内にベンガラで赤い四角を作って注意喚起をしたいと思います。四方に看板を設置することについては持ち帰らせてください。

（安心安全課） 踏切北の交差点の東側と西側に、交差点注意の看板設置を行いました。
（維持課） ベンガラ等の路面標示につきましては、令和5年3月末までに工事完了予定です。

市民　人口減少対策の一つは、若い人が来て、子どもを産んで、育てることだと思います。県北への移住を考えたときに、深谷、本庄、行田などある中で熊谷が選ばれるのか不安に思いますが。どのようにお考えか伺います。

新たに保育所を作って、駅でお迎えをするというのは非常にいい考えだと思います。そういう施策により、若い人たちを呼べればいいなと思います。

市長　本庄市、深谷市、東松山市の人口は現状維持ないし伸びています。落ち込んでいるのが熊谷市と行田市です。共通点は高速道路のインターチェンジがあるかないかです。インターチェンジがあると、企業が来る、働き口ができる、若い人たちも来ます。高速道路を熊谷へは私の公約の一つです。

人口増には、就業機会を増やす、定住促進、それから結婚、出産、子育て支援などが考えられますが、今の熊谷市は若い人が来たくても土地の流動性が悪く駅の周りほど空洞化が起きています。

市民体育館は熊谷駅から歩いて５分です。３５００人プラスアルファを収容するアリーナ形式の体育館を考えています。まずは、駅南にアリーナを建設し、新幹線を使って人が来る熊谷を創りたいと思います。熊谷を訪ねてくる人たちが、熊谷遠くないね、ここに住んでもいいねとなるように、南口から熊谷を変えたいと思います。

私の名刺は二つ折りで、表は荻野吟子さん、中には、東京から３８分、新潟から１時間２２分、長野から１時間５分と書いています。熊谷は本当に便利な場所だと思っています。熊谷の顔を変える、デベロッパーと新しいまちづくりをしたいと思っています。民間の力を借りた方がスピードも上がります。まずは人を増やしつつ企業を増やして若い人達を呼び込みたいと思います。

市民　熊谷の一番いいところは災害に強いことです。ただ暑いだけでなく災害の発生率が低いところなので、そういうところをPRしてください。

市長　そのとおりだと思います。ただ、熊谷を一番だめだと思っているのは熊谷の人だと思っています。「深谷はいいよな、行田も、本庄も。」と隣の芝生が青く見えてしょうがない。でも深谷の人に聞くと、「熊谷いいよな。」と言うのです。皆さん、熊谷のことを聞かれたら、災害は少ないし、新幹線は停まるし、スポーツは盛んだし、教育環境も整っているとＰＲしてください。

外からは羨ましがられていることを踏まえて、何が不足しているのか、どうしたらより光る熊谷に変えられるのか御意見をいただきたいと思います。

市民　熊谷駅を降りると、直実像が目に飛び込んできます。長年ゆかりの寺院が観光目的での開門をしていませんが、そこについてはいかがですか。
市長　来年、小学生に直実公と蓮生法師の話を教えようと思ってブックレットを作ろうと考えています。ページ数を抑え、絵を入れるなど、子どもが最後まで読めるように考えています。市民の皆さんの思いは一緒だと思いますので、住職さんの気持ちを尊重しながら良好な関係を維持したいと思います。

（熊谷図書館） 令和5年度、マンガ『直実・蓮生物語』の編集・刊行予定です。

市民　道の駅「くまがや」の進捗状況を教えてください。
市長　事業が動き出して丸５年になりました。当初７年でといわれていましたが、遺跡調査に時間がかかっています。この時間を使って、６０億円かかる費用の圧縮や収支改善の方法も考えています。来年には、要求水準書を基に、企業若しくは企業グループを決定し、次の一歩を踏み出します。

（東部開発推進室） 令和2年度から開始した「総合戦略」池上地区「道の駅」整備事業地内埋蔵文化財発掘調査については、令和4年度に発掘調査が完了し、来年度以降は発掘調査の整理・報告書の作成を実施することとなります。「道の駅」整備事業では、本市の財政負担の軽減効果を期待し、PFI手法の導入を予定しています。来年度以降のスケジュールとしては、4月に募集要項及び要求水準書を公表し、9月に民間事業者からの提案を受け、その後、民間事業者の選定手続きを進め、12月に優先交渉権者を決定します。その後、令和6年3月に事業契約を締結、令和9年12月までに施設の設計・建設を行い、令和10年3月からの開業を目指しています。

市民　中学校の学校区についてですが、石原小はここの道で荒川中学校と大原中学校に分かれます。富士見中学校が中央公園から今の場所に移ったことで、中学校の学校区が崩れたと皆さんが感じています。今後、統廃合等の話も聞きますが、その上で学校区の変更などを考えていただきたい。
市長　大原中学校の合併は２０３０年以降ですので変更の可能性はあります。今から１０年先の話をして、地域の人たちを心配させるようなことはしないように言いました。やらざるを得ないところで皆さんに相談すべきで、仮定でする話ではないと思っています。
　石原小学校は市内で一番大きな小学校になりました。増えた子どもたちは、ほぼ荒川中学校に行きます。この学区を変えるわけにはいきませんが、地域の方の想いを残せるようにしたいと思います。

（教育総務課） 統廃合等による学校区につきましては、「熊谷市立学校の適正な規模に関する基本方針」に基づき、子どもたちのことを第一に考えて検討します。